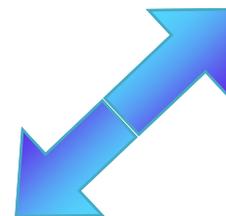
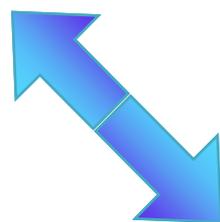


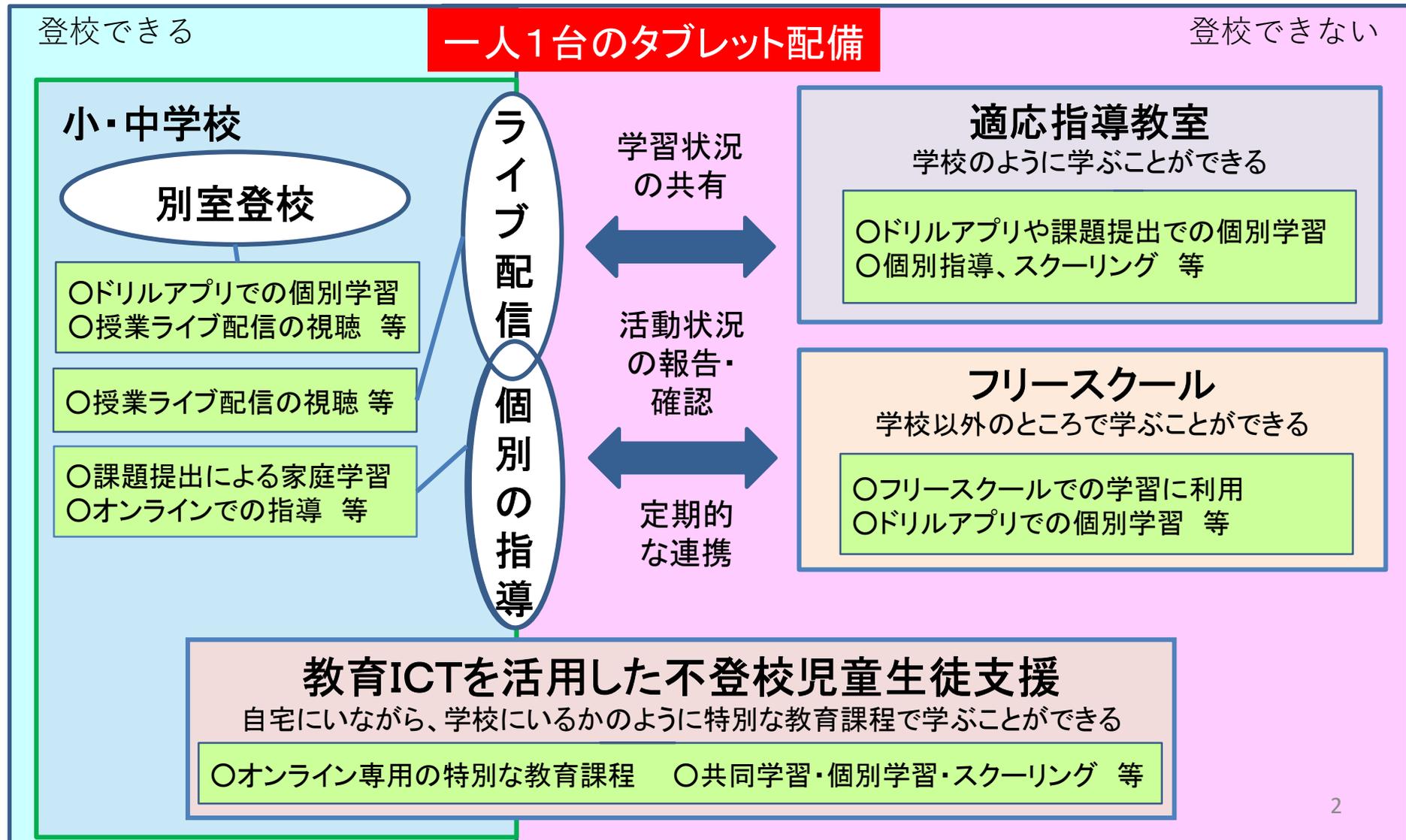
教育ICTを活用した 不登校支援について



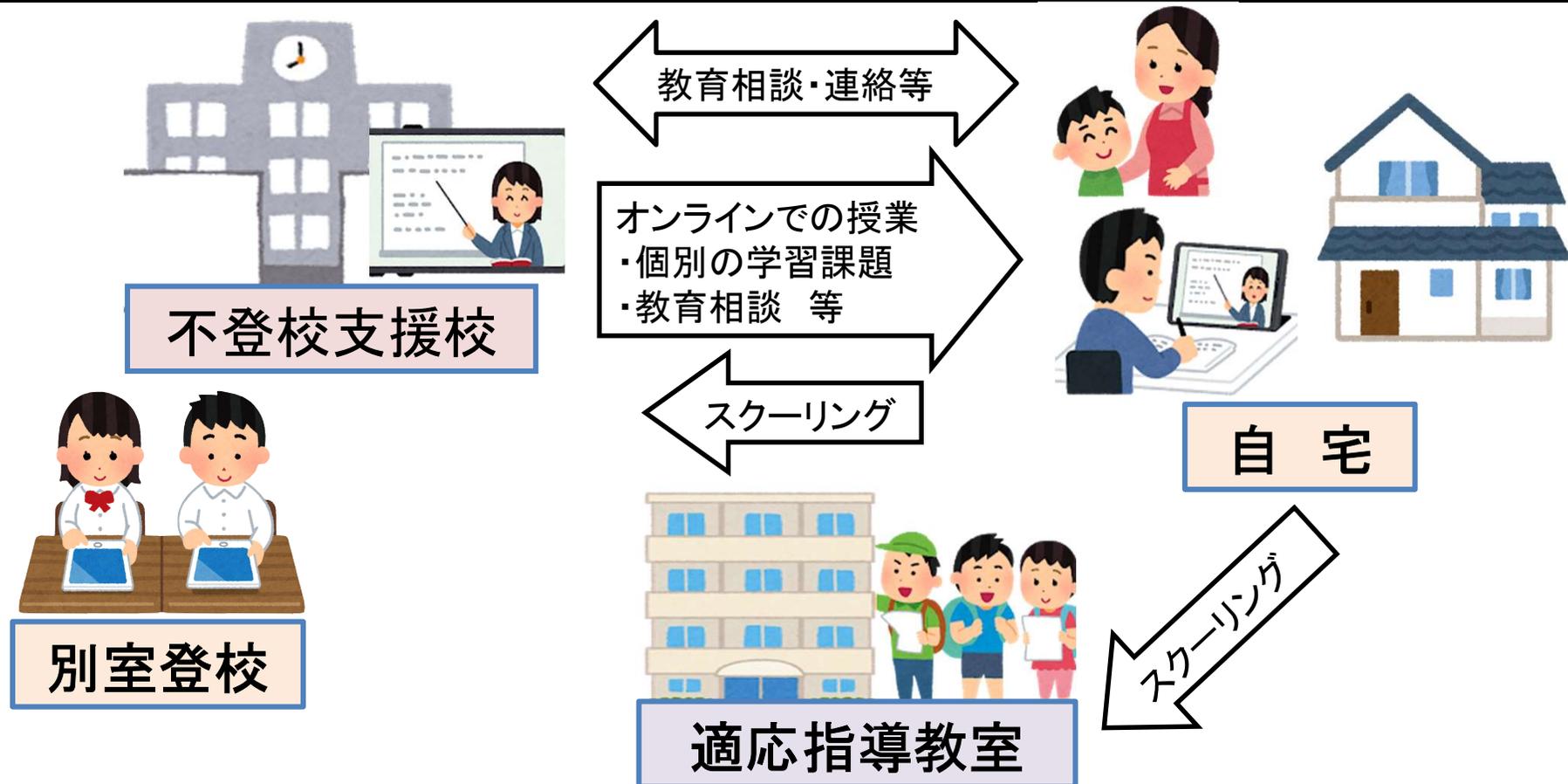
令和3年3月
総合支援課

1 「教育ICTを活用した学習機会の確保」構想図

- 全ての児童生徒にあった学びの場と方法を提供する
- 学校で学べない児童生徒の学習機会を保障する



2 教育ICTを活用した不登校支援のイメージ



- ・児童生徒は、本籍校に在籍のまま、あるいは、必要に応じて不登校支援校に転校し、オンラインによる指導を受けることができる。
- ・スクーリングは、2週間に1回程度不登校支援校か適応指導教室へ。
- ・ICTで授業に参加した場合は、「指導要録上の出席扱い」とする。
- ・自宅以外でも、学校の別室で学習することも可能。
- ・保護者も教育相談や相互の連絡等で不登校支援校とつながる。

3 授業のイメージとオンライン担当の役割



※オンライン担当と不登校サポーターは、担任等と協力し、主に次の役割を担う。

- ・毎朝、健康観察と学習予定や課題の確認をオンラインで実施
- ・各学年1コマ程度のオンラインによる授業(共同学習・問題解決学習)のコーディネート
- ・SCや養護教諭等が行う教育相談への協力
- ・毎日、振り返りと次日予定の確認をオンラインで実施

4 不登校支援校の日課表の例

日課表(中学校)のモデル

	50分授業	月	火	水	木	金
1	8:40～ 9:30	自主学習 ※自由参加(家庭学習を進めても可)				
始業	9:30～ 9:50	オンラインによる健康観察と今日の学習予定や課題の確認				
2	9:50～10:40	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習
3	10:50～11:40	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習
4	11:50～12:40	家庭学習	教育相談	家庭学習	教育相談	家庭学習
昼休み	12:40～14:00	自宅で昼食・掃除などのお手伝い				
5	14:10～15:00	オンライン 授業	オンライン 授業	オンライン 授業	オンライン 授業	オンライン 授業
終業	15:10～15:30	オンラインによる学習の振り返りと明日の予定の確認				
6	15:30～16:20	自主学習 ※自由参加(家庭学習を進めても可)				

- ・オンライン授業や教育相談は、その日によって時間帯が変わることを想定。
- ・2週間に1回程度、不登校支援校に登校するか適応指導教室の活動に参加する。
- ・教育課程は、当該学校の教育課程に準ずる。

5 期待される効果



不登校児童生徒

オンラインでの授業やWebサイト、テレビなど自分に合った場所や方法で学ぶことができる。



不登校児童生徒の保護者
子供の居場所ができ、学習
機会の選択肢が増える。



本荘小・芳野中の児童生徒

学級・学校以外の友達とも交流し学習できる。



本荘小・芳野中の保護者や地域の方々
子供たちの交流が広がり、地域の学校が
よりよい社会づくりに貢献できている。



学校の教職員

すべての子供が参加でき、主体的に行動できる。
子供がICTを使って授業の主役になれる。

6 今後のスケジュール

令和2年度	3月	不登校児童生徒アンケート(意向調査) 教育委員会会議での協議、校長会への報道
令和3年度	4月	モデル校(芳野中学校・本荘小学校)取組開始 主要取組事案説明
	5月	モデル校保護者説明会
	6月	不登校支援校モデル事業の周知 不登校支援校希望児童生徒保護者説明会 授業体験児童生徒募集
	7月	オンライン授業体験開始
	10月	予算計上・次年度の希望確認・学級編制提出
	1月	学級編制仮届出
令和4年度	4月	本格実施

※随時、モデル校検証会議、不登校支援校準備委員会開催
 ※学校教育部該当課で総合的に不登校対応の在り方を検討

7 適応指導教室における教育ICTを活用した支援



- ・児童生徒は、適応指導教室に通所し体験活動や学習指導を受ける。
- ・通所できなかった場合にオンラインで参加することも可能。
- ・通所だけでなく、オンラインで参加した場合にも「指導要録上の出席扱い」にすることができる。